

看護連携新聞

令和4年 春号

飲み始めた薬を体調が良くなったからと自己判断で止めてしまった
または飲み忘れてしまった経験がある方はいませんか？

薬の服用を中断したことで体調に影響する場合があります。

どのような変化があるか一部分ですがお伝えします。



〈症状が治まってきた時に止めてもいい薬〉

今ある症状を和らげ、自然治癒の手助けをする下痢止め、咳止め・鼻水止めなどの
風邪薬は症状の改善に伴って中止しても大丈夫です。

〈症状が治まっても中止してはいけない薬〉

★抗生物質・抗菌剤 飲み始めると症状が軽くなり治ったように
思ってしまいますが、処方された通りに飲まず、止めてしまうと
その薬に抵抗力を持った細菌が増えて治りにくくなります。

★胃潰瘍、十二指腸潰瘍の薬 痛みが治まったからと服用を止め
てしまうと、残った潰瘍部分から出血する場合があります。

★高血圧の薬 血圧が下がって安定したと思い止めてしまうと、止めた反動で血圧が
上昇し、心筋梗塞や脳梗塞など大きな病気を引き起こすことがあります。

★ステロイド薬 アレルギーなどでステロイドを使用する場合、症状が治まったからと
使用を止めると、かえって症状が悪化することがあります。

★その他、痛風やうつ病の薬でも止めた反動で症状が悪化する場合があります。

◎症状が一時的に良くなっても薬の量を徐々に減らしたり、弱い薬に変更しながら
やめていく必要があります。自己判断で薬をやめるのではなく、医師の指示通りに
正しく服用することが大切です。



～編集後記～

最近薬局が身近にあり、市販薬も簡単に手に入ります。
感染予防のため外出できないから体に不調があるように
感じてしまい、薬に頼ろうとして、安易に飲み始めて体調を
崩すことがないように薬の危険性についてまとめました。
自然治癒力＝免疫力を高めると体調維持の助けにもなり
ます。前号で免疫力について掲載しました。参考になると
うれしいのですが・・・次もお楽しみに！



Gimeien

特別養護老人ホーム
義明苑
看護連携委員会